

被災地に寄り添う

—上—

田澤 隆



岩手県宮古市田老地区の避難所で「全部流されちゃったんだよ」と語る子供たちに、せめて文房具を持たせてあげたいと、支援物資の中から鉛筆などの文房具を探し出して配ってみました。しかし、がっかりした顔をする子供が多いのです。

「仕方ないよね、我慢する」。近ごろの子供たちは鉛筆をあまり

好みません。シャープペンシルを望んでいたのです。新品・中古の鉛筆は大量に段ボールに入っていますが、誰も見向きもしません。

子供たちにせいたくだと言えますか？震災以来、避難所の子供たちは親や周りの大人たちから「我慢しなさい」「おとなしくしなさい」と常に言われ続

けており、子供たち自身も、そうしなければいけないことをちゃんと知っていて、我慢しているのです。

いたたまれない気持ちに苛（さいな）まれ

ます。そこで急ぎよ、盛岡市の文具店を回り、シャープペンシル、替え芯、筆箱、キャンパスノート、ルーズリーフ等の文房具を買いました。避難所に戻り、子供たちに配布したとたん、即、なくなりま

した。被災者の方々は大人も子供も本音では新品を望んでいるのです。逃げるので必死になり汗をかき、あるいは津波をかぶったり、泥や

カレキを掻（か）き分けて、やっとの思いで避難してきた方が多いのです。そんな方々に送ってもありがた迷惑な場合もあるのです。

支援物資は新品送って

支援物資

は、せめて新しい下着、洋服をそと差し出し

を送る場合は本当に慎重になつてほしいのです。私自身の個人的な思いですが、支援物資を供給する企業やメーカーに義援金を送るシステムがあれば、効率も経済もスムーズに運ぶと思っています。

気持ちは大事という方は、ぜひ支援物資の仕分けに参加してみてください。ついさっきまで着ていたような下着や、泥が付いたままの靴、子供の文具用品に交じって女性の生理用品、あるいは食べかけのお菓子など、笑い話ではなく事実です。

もちろん善意であると思いますが、仕分けする方も気持ち折れそうになるのを必死でこらえて作業していただきます。被災者の方にも

す。被災者の方にも

す。被災者の方にも

す。被災者の方にも

す。被災者の方にも



支援物資の配給日、少しでも状態の良い衣料を探し求める被災者たち＝田老地区の避難所